

様式第5号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和 6年 5月29日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町下那珂 2940 番地 82  
名 称 広瀬小学校区地域づくり協議会  
代表者の氏名 井上 聖子  
電話番号 0985-73-1120

令和5年6月1日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第19条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告・収支決算（見込）書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 積立金管理状況報告書
- (ニ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届書
- (ホ) その他

(様式第6号)

令和5年度 事業実施報告・収支決算(見込)書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

1 総括

コロナの第5類移行と、天候に恵まれて計画していた事業すべてを実施することができ、希薄になりかけていた地域のつながりに明るい兆しの明かりをとすことができた」と総括している。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	1,696,400	1,696,400		
特例交付金	18,020	18,020		
繰越金	365,749	365,749		
負担金		41,500	41,500	カヌー15,000 制服25,200等
その他の収入				
合計	2,080,169	2,121,669		

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域安全確保推進に係る事業	18年目	387,000	350,165	△36,835	
環・再	石崎浜・石崎川流域再生利用 促進に係る事業	17年目	190,000	166,482	△23,518	
健	健康づくり地区民交流事業	18年目	654,000	534,706	△119,294	
再・伝	ふれあい交流推進活動に係る事業	17年目	91,000	81,599	△9,401	
教	中学生ボランティア事業	15年目	79,000	67,444	△11,556	
教	協議会講座事業	8年目	47,000	46,637	△363	
再	広報事業	18年目	382,149	373,417	△8,732	
再	地域リーダー育成事業	11年目	159,000	157,729	△1,271	
福	制服等の譲渡会事業	3年目	73,000	88,940	15,940	
	広瀬中学校部活支援検討事業	1年目	18,020	18,020	0	
繰越金			0	236,530		
合計			2,080,169	2,121,669	41,500	

### 3 実施報告

#### [1] 防犯・防災に係る事業

事業名	地域安全確保推進に係る事業	実施年数	18年目
事業期間	開始：平成18年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち ◎地域住民が共同し、自ら防災防犯の意識を高め、安全・安心な住みやすいまちづくりに努める。		
目的 (期待される効果)	防災講習会、防犯パトロール、見守り活動、危険箇所改善など地域でできる活動を通して住民の防災・防犯意識を高め、子どもから高齢者まで誰でも安心して暮らせる地域づくりを推進する。		
事業内容・	<p>(1) 防災に係る支援と啓発活動 防災講話講習会の実施 会場：広瀬地区交流センター 実施時期：9月3日 内容： 『もしも』の時に、どのように考え、どう行動すればよいか、時間や場所で異なり、それぞれの場面で身を守るために必要な知識や行動の習得に役立つ「津波防災ワークショップ」を宮崎県防災士ネットワークの方の指導の下実施した。</p> <p>(2) 防犯パトロールの推進活動 地域：広瀬小学校区内 実施時期：通年 内容：青パトによる広瀬小学校区内の見守り、防犯パトロールを実施した。青パト隊員更新と隊員募集の講習会を実施した。</p> <p>(3) 危険箇所改善推進活動 場所：校区内全域 実施時期：5月～12月 内容：自治会から出された通学路や生活道路及びその他危険箇所24件の改善を関係機関に要望を行い9件が改善された。</p> <p>(4) 子どもみまもり隊活動支援活動 ア、みまもり隊活動支援 場所：広瀬小学校校区内 実施時期：通年 内容：自治会に児童の下校時刻表の配布を毎月行った。 見守り隊員備品提供（帽子5、ベスト6、腕章5、旗3） イ、みまもり隊関係者連絡会議の開催と感謝集会への参加 会場：広瀬地区交流センター 実施時期：6月14日（関係者連絡会議） 内容：各地区見守り隊員、小中学校長、警察等32名で実施した。佐土原交番所長からは広瀬地区の交通事故、不審者案件についての現状、児童の登下校の安全について、防犯ベルの所持とできるだけ裏道を避け複数での行動をしてほしいなどの防犯対策の話があった。 小中学校の校長から見守りの最中はもちろん、普段でも子供たちにこんにちは、おはよう等声をかけていただきたいとの要請があった。 また中学生の下校が遅くなった場合は自転車の点灯を徹底させると中学校の校長より話された。</p>		
事業費	350,165円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	215人	236人
	スタッフ	8人	10人
	合計	223人	246人
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ		
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実の場合を想定しながら講習を受けました。</li> <li>・とっさの時の行動は、慌てず落ち着いて動くことが需要だと思った。</li> <li>・ワークショップでは設定が複雑すぎる。</li> <li>・実際時間をおって行動を考えることでより具体的にイメージできた。</li> <li>・カーブミラーは何回申請しても、設置されないのはどうしてですか。</li> <li>・広瀬地区の安全に必要ですので青パトの活動をこの先も続けてください。</li> <li>・警察の巡回パトロールを頻繁にしてほしい。</li> </ul>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	学校や自治会と意思の疎通を図り、担当部会、PTAからの要望や提案を取り入れつつ事業を計画実施している。	広報	⑤事業の周知	A	A	住民参加型の事業は自治会の回覧チラシを使って周知し、参加者が特定されている事業は当事者に案内している。
	② 住民の参加	B	B	コロナの第5類移行後、参加の制限をなくして実施したが、参加者は昨年とほぼ同じにとどまった			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	安全安心は住民すべての願いであり地域づくりの取り組みとして当然である。	事業の効果	⑦住民の満足度			B
	③ 各種団体との連携	A	A	全ての事業で自治会と連携協力している。防犯パトロールは民生委員、防災講習会は防災士ネットワークの協力をいただいている。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      防災講習会で、聞くだけの講習会でなく、今回は気象台が作ったワークショップを取り入れて、知らない土地の地図を見ながらラジオや地図等のいろんな情報を得ながら、自分たちで津波到達時間前にどのようなルートを選んで、安全な場所に避難すればよいか学ぶことで、いざとなった時の、情報をどう生かすのか、知らない土地で地震にあった時どうするのかといった、講習会ができたことはよかった。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;                      &lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済
		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;                      &lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 環境・地域再生に係る事業

事業名	石崎浜・石崎川流域再生利用促進に係る事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成19年	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 自然と共生し快適に暮らせるまち ◎自然に親しみ環境を考えるまちづくりに努める。														
目的 (期待される効果)	清掃活動や環境学習・講習会、カヌー教室、アカウミガメ学習会、スケッチ大会など石崎浜・石崎川流域の活動を通して自然とふれあい、環境保全活動と啓蒙の向上に努める。														
事業内容・手段	<p>(1) 石崎川河川浄化啓蒙推進活動 会 場：広瀬地区交流センター 実施時期：EM 活性液講習会：6/4，EM 石鹼7/2 内 容：現代の我々の物的要求、経済活動が環境に与える負荷を増大させている等の環境講話と環境にやさしいEM 活性液・ぼかし、EM 石鹼づくりの講習会を実施した。</p> <p>(2) 石崎浜・石崎川河口流域清掃活動 場 所：石崎浜、石崎川なぎさ橋周辺及び自転車道 実施時期：7月～11月 内 容：石崎浜ビーチクリーン活動に12名が参加 アカウミガメ学習会時に参加者と石崎浜のごみ回収実施。 11月には広瀬中学校の地域ボランティア活動の生徒200名と地域の人等総勢290名が参加して自転車道なぎさ橋周辺のペットボトル、プラ、缶などのごみ回収活動を実施した。 今年は台風の上陸が無く、不法投棄も少なかった為、ごみの回収量は軽トラ1，5台分と昨年4分の1であった。</p> <p>(3) カヌー教室と環境学習 場 所：栄橋の東～鉄橋下までの石崎川および堤防 実施時期：7月23日 内 容： 大淀川学習館講師による、石崎川に生息する魚についての講話の後、NPO2団体との共催による親子カヌー教室を開催した。カヌー13艇、子ども22名、保護者14名、広中のボランティアの生徒5名、スタッフ等62名が参加して実施した。</p> <p>(4) スケッチ大会の開催 場 所：石崎地区東側田んぼ 実施時期：11月19日 内 容：石崎地区農地水環境を守る会の人たちが田んぼに種まきしたコスモス田で17名が参加してスケッチ大会を実施した。</p> <p>(5) アカウミガメ学習会 場 所：石崎海浜 実施時期：8月20日 内 容：雨で延期していた学習会を、夏休み最後の日曜日に実施した。 学習会に合わせて、国土交通省宮崎海岸出張所が行っている海岸養生について、担当者からの説明の後、アカウミガメの保護活動に携わっていた方より、アカウミガメの上陸、産卵、孵化等についての学習会を実施した。学習会の後、参加者26名全員でプラやペットボトルなどの回収活動を行った。</p>														
事業費	166,482円														
対象者	小学生、中学生及び地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>371人</td> <td>439人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>71人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>442人</td> <td>505人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	371人	439人	スタッフ	71人	66人	合 計	442人	505人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	371人	439人													
スタッフ	71人	66人													
合 計	442人	505人													
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ														
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃油を活用しての石鹼は自宅でもできるので活用したい。</li> <li>・広瀬の身近な川でカヌーができて子供たちも喜んでいきます。</li> <li>・1年生から3年連続ボランティアでプラ等のごみ回収をしているが、今年はポイ捨てが少なく、これからもポイ捨てが無いよう願っています。</li> <li>・3人乗りのカヌーが傾き、川に落ちたが意外と浅く、足も届いてライフジャケットをつけていたので慌てなかった。</li> <li>・海岸の砂の話は難しかったが、カメの為にはいいことだなアと思った。</li> </ul>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	参加者のアンケートや聞き取りPTA、学校、自治会、部会員のなど意見を参考にしている。	広報	④ 事業の周知	A	A	地区回覧チラシ、学校の協力を得て全校生徒へのチラシ配布、及びアカウミガメとスケッチ大会は、HPでの周知も行った。
	② 住民の参加	A	A	スケッチ大会は参加者が少なかったが、カヌー教室、アカウミガメ学習会等の親子連れ事業は、例年とほぼ同じ程度の参加者があった。		事業の効果	⑤ 課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	当協議会が目的としている、自然を、カヌーや、コスモス、ごみ回収等で肌と感じ、環境への啓蒙を促す活動として取り組んでいる。	事業の必要性		⑥ 住民の満足度	A	A
	③ 各種団体との連携	B	B	NPOの2団体との連携や学校、PTAからも協力を得ている。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	アカウミガメ学習会で、国土交通省の担当者呼んで、海岸浸食の対策として、砂浜の養生などを行っている話を設けたのはよかった。 しかしながら、南海トラフ、日向灘地震による津波を考え、今年度限りでこの事業は終了することとした。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>							対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 健康づくりに係る事業

事業名	健康づくり地区民交流事業	実施年数	18年目
事業期間	開始：平成18年	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 活気あふれ、いきいきと働けるまち ◎老若男女の住民が健康で明るいまちづくりに努める。		
目的 (期待される効果)	元気げんき祭り、グラウンドゴルフ大会、ペタンクを通して、健康づくりと地区民の交流親睦を推進する。		
事業内容・手段	(1) 第19回元気げんき祭り 会場：宮崎市立広瀬中学校体育館 実施時期：11月26日 内容：今回は、新たな競技、宅配便リレーを加えてグラウンドゴルフリレー、ペタンク投げ、障害物競走の4種目の競技と抽選会を実施した。抽選会には町内外の32の事業所から景品の提供があり大会を盛り上げた。参加者は小学生から高齢者まで、総勢350名以上が参加した。また今回も広瀬中学校の生徒40名が受付、審判、競技運営などにボランティアで支援してくれて時間通りに進行することができた。 (2) 自治会交流グラウンドゴルフ大会 会場：石崎グラウンド 実施時期：10月15日 内容：17地区から26チーム117名が参加して、18ホールで熱戦を展開した。コロナの第5類移行に伴い制限を撤廃して通常のルールで行い、参加者も笑いながらの大会ができた。 (3) スポーツレクレーション「ペタンク」 会場：広瀬地区交流センター 実施時期：9月16日（講習会） 10月1日（大会） 内容：普及と交流を兼ねて、講師指導による講習会と3人編成によるチーム対抗戦を実施し、42名が参加した。		
事業費	534,706円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	431人	273人
	スタッフ	88人	71人
	合計	519人	344人
住民の声（アンケートの結果等）	事業内容に応じ男女別年齢別データ <ul style="list-style-type: none"> <li>・種目が増えて長くなると思ったけどスムーズに進んでお昼に終わってよかった</li> <li>・新種目の宅配便リレーは、高齢者から子供まで楽しめて面白かった。</li> <li>・今年もボランティアの中学生が世話をしてくれてうれしく思いました。</li> <li>・抽選会の景品が多くてびっくりしました。</li> <li>・抽選会の景品渡しに時間がかかったのでもう少し短くといいと思います。</li> <li>・グラウンドゴルフは、制限がなくのびのびできました。</li> <li>・今年のグラウンドゴルフは、天候もよく風も吹かずに楽しくできました。</li> <li>・ペタンク大会にもう少したくさんの人が参加したらまだ楽しいと思いました。</li> </ul>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	事業に参加した一般住民、自治会長、PTA、学校、及び部会員などからの提案、意見を受け、地域のニーズを把握して、企画に生かしている。	広報	④ 事業の周知	A	A	自治会を通してのチラシ回覧、全世帯配布、及び小中全校生徒を通じて保護者へのチラシ配布をして、周知を図った。
	② 住民の参加	B	A	自治会や、学校を通して、チラシ告知を行い、自治会の参加募集によって、小学生から高齢者まで、幅広い年齢層の参加につながった。			事業の効果	⑦ 課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	参加者の構成、年齢などそれぞれが違うレクリエーションスポーツ&祭りを開催する事は、地域住民の参加機会・交流の機会を広げ、活性化する地域づくりを目指す当委員会として至極妥当なことである。	事業の効果	⑧ 住民の満足度			A
	④ 各種団体との連携	A	A	学校、自治会、地域事業所と連携して行った。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・元気げんき祭りの競技種目に宅配便リレーを新たに追加して、4種目にし、参加できる機会を広げて参加しやすいように工夫した。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⊕』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『⊖』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生・伝統文化に係る事業

事業名	ふれあい交流推進活動に係る事業	実施年数	17年目
事業期間	開始：平成19年	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</p> <p>◎郷土の文化を大切に、子供と大人が触れ合えるまちづくりに努める。</p>		
目的 (期待される効果)	郷土の音頭や昔のあそび等を通して子供から大人まで幅広い地区民の交流と伝統文化の普及継承を推進する。		
事業内容・手段	<p>(1) 伝統芸能の普及活動</p> <p>ア 広瀬音頭普及活動 会 場：広瀬神社祭り会場、さどわらん祭り会場、広瀬小学校 実施時期：7月～10月 内 容：広瀬神社祭り・さどわらんまつり会場での踊りの披露、広瀬小学校1年生への踊りの指導、広瀬小学校全児童による運動会での総踊り実施。</p> <p>イ 曾我兄弟踊り広瀬小学校公演 会 場：広瀬小学校体育館 実施時期：11月7日 内 容：広瀬小学校6年生の総合学習の時間に大炊田地区で150年前から継承されている鎌倉時代の曾我兄弟踊りの公演と仇討ちがあった鎌倉時代の時代背景、伊東家と佐土原との関係等の講話を実施した。</p> <p>(2) 郷土の偉人啓次郎及び昔の遊びなどの学校支援活動 会 場：広瀬中学校 実施時期：6月～1月 内 容：広瀬中学校3年生の啓次郎の日学習で、啓次郎アメリカ留学について外山氏の講話を実施。広瀬小学校の1年生の「昔のあそびを楽しもう」の時間に、地区の方14名と佐土原歴史資料館の3名が参加して、子供達に竹馬、竹とんぼ、おじゃみ、神代ごま等の遊びと交流を交えて支援した。</p>		
事業費	81,599円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	1264人	1283人
	スタッフ	38人	11人
	合 計	1302人	1294人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの賑いの中で法被姿の踊りをしているとホッとする。</li> <li>・子供たちの元気なおーいおーいの唄の一節と一緒に踊りたくなった。</li> <li>・1年生の元気な音頭の練習を見ていると元気が出てきた。</li> <li>・子供たちから曾我兄弟踊の衣装や、練習をどのくらいしているかななどの質問が来て、公演してよかったなと思いました。</li> <li>・こどもたちに竹馬や竹トンボを教えながら、自分の子供時代を思い出して童心に帰ったような気持ちになって若返ったような気持ちになった。</li> <li>・啓次郎の講話を聞いていると途中からうとうとと眠くなってきた。</li> </ul>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
		本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体の街づく	① 地域ニーズの把握	A	A	広瀬音頭は広く地区民に周知し普及を図るため、地域の祭り及び小学校での普及活動を主体的に行った。また曾我兄弟踊、昔のあそび、啓次郎講話は学校の要望を取り入れ実施した。	広報	⑤ 事業の周知	A	A	曾我兄弟踊、むかしのあそびの学校行事の一部、広瀬音頭は、事業の模様を広報誌、HPで地区民に広報した。
	② 住民の参加	A	A	久々の祭り復活で、踊りの輪の中に多くの子供や、地域の方が飛び入りで参加した。小学校の広瀬音頭、曾我兄弟踊り、昔のあそび、中学校の啓次郎講話は学校行事の一環で児童と教職員及び保存会や地域の住民が参加した。		事業の効果	⑥ 課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	当協議会では郷土の文化を大切に、子どもと大人が触れ合えるまちづくりに努めることを目的としており、文化の継承と触れ合いづくりの妥当な取り組みである。			⑥ 住満足度	A	A
	③ 各種団体との連携	B	B	大炊田高嶺会、民生委員、曾我兄弟踊保存会、及び学校と連携して事業を実施した。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・曾我兄弟踊りの公演が終わった後、質問タイムを設けて、踊り手が付けている衣装の伝統雨具の蓑、ばっちょ傘等、現代では見られない衣装についての質問や、練習は何処でしているか等の質問があり、伝統芸能について子供たちに興味を抱かせることができよかった。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				<意見への対応>		対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				<意見への対応>		対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 地域教育に係る事業

事業名	中学生ボランティア事業	実施年数	15年目
事業期間	開始：平成21年	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち ◎少年少女の中学生が思いやりのある誇れるまちづくりに努める。		
目的 (期待される効果)	ボランティアを通して中学生の郷土愛と地域社会への参加を推進する。		
事業内容・手段	<p>(1) 広瀬中学校生徒による地域ボランティア活動の実施</p> <p>場 所：石崎川なぎさ橋周辺・新町の招魂塚</p> <p>実施時期：11月12日</p> <p>内 容：清掃活動に応募したボランティアの中学生(200名)と地域の人たち、スタッフ等290名が協働して、なぎさ橋周辺、招魂塚周りのプラ、ペットボトル、缶、ビンなど軽トラ1,5台分のごみ回収作業を実施した。今年は台風の襲来が無く、またポイ捨ても例年より少なめであったためか、回収ごみも少なく、作業時間も短縮された。招魂塚周りでは、竹、木などの落ち葉の清掃を実施した。</p>		
事業費	67,444円		
対象者	中学生及び地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	271人	273人
	スタッフ	19人	23人
	合 計	290人	296人
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ		
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年、一昨年も参加したが、今年はポイ捨てが少なく、自分たちのボランティアのおかげかなあ。</li> <li>・プラ、ペットが少なくあっという間に終わって、物足りなかった。</li> <li>・ゴミ拾いをして、広瀬がきれいになると思ったら心が晴れ晴れした。</li> <li>・自分たちの故郷を少しでもきれいにできて、広瀬への愛着が出たような気になった。</li> <li>・少し雨がぱらついたけど、久しぶりに広瀬の海が見られて楽しいボランティアができました。</li> <li>・スタッフの方は、朝早くから準備してくれて本当にありがとうございます。</li> <li>・地域づくりの方のように、私もこれから地域の為に何か貢献していきたいと思いました。</li> <li>・自転車道がきれいになって、私も自然の中のこの自転車道でサイクリングしてみたいと思いました</li> <li>・みんなとおしゃべりしながらのボランティアは楽しかったです。</li> <li>・早くコロナが収まってマスクなしで作業がしたいです。</li> <li>・広瀬の自然がいつもきれいで、これからも壊さないように願います。</li> <li>・中学生が頼もしく見えてきました</li> </ul>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	地域で子供を育てる健全育成の地域のニーズと、生徒たちの自主的な地域貢献の願いを受けて実施している。	広報	④ 事業の周知	A	A	中学校を通して各クラスにボランティア募集のチラシを配布し周知を図った。 地区からの一般参加者は自治会長へ依頼して参加者を募っている
	② 住民の参加	A	A	広瀬中学校のボランティアの生徒200名と各地域の住民等290名が参加した。	事業の効果	⑦ 課題解決への作用	A	A	中学生の郷土愛を育てる地域活動への参加及びボランティア活動の中で地域の人と交わる機会を提供できたことはこれからの地域づくりに役立つものと思っている。
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の子どもは地域で育てるとともに、地域の子どもと地域の大人が協働する活動が地区の活性化につながるという観点から取り組んでいる。		⑧ 住民の満足度	A	A	子供も地区住民も協働事業の活動で自分たちの住む町の自然がきれいになったことへの達成感と満足感が得られたものと思う。
	③ 各種団体との連携	A	A	学校、自治会、青少協の協力を得ている。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません

[6] 地域教育に係る事業

事業名	協議会講座事業	実施年数	8年目
事業期間	開始：平成28年	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</p> <p>◎講座を通して自己研修ができるようなまちづくりを目指す</p>		
目的 (期待される効果)	<p>広瀬の近代史を知る機会を提供し郷土愛への醸成を推進する。</p> <p>また、様々な講座を行い、知識の習得や住民相互の交流を図る。</p>		
事業内容・手段	<p>(1) 協議会講座</p> <p>会 場：広瀬地区交流センター</p> <p>実施時期：7月～8月</p> <p>内 容：</p> <p>講座</p> <p>佐土原の歴史戦国編</p> <p>根井三郎の功績を語る</p> <p>訪ねてみよう啓次郎ゆかりの地ウォーキング</p> <p>佐土原の歴史講話では、関ヶ原の戦い前後の佐土原藩と家康との話。根井三郎の功績を語るでは、根井三郎顕彰会員による、根井三郎の功績や広小学校の学籍簿の写真などを取り混ぜての講話、訪ねてみよう啓次郎ゆかりの地ウォーキングでは約4,5キロの、コースの中で、広瀬城の跡地、西郷札印刷所跡地等を、ウォーキングしながらの啓次郎ゆかりの地巡りを実施した。</p> <p>講習会</p> <p>包丁研ぎ講習会</p>		
事業費	46,637円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	52人	35人
	スタッフ	14人	10人
	合 計	66人	45人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			

住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうどの歴史を学ぶことは楽しいです。</li> <li>・図師先生の話は、初めて知ることも多くて興味深くおもしろかったです。</li> <li>・伊集院忠棟の働きと秀吉との関係が今回よくわかりました。</li> <li>・いつもは聞けないような詳しい内容の話が聞けて大変興味深いものがありました。ありがとうございました。</li> <li>・根井三郎の出身地である広瀬地区で講演会が開かれた意義は大きいと思います、一步一步進んでください。</li> <li>・民を救うことの難しさは、今の時代でも大変なこと、連絡を取り合う難しい時代にこんなりレーができた功績には、感銘を受けました。</li> <li>・説明は参加者が関心のある方ばかりだったので十分な時間が取れて良かった。</li> <li>・啓次郎に興味のある方や、健脚の方でないと参加は難しいかもしれませんね。</li> <li>・時間、ポイントごとの説明とウォーキングの割合など丁度良かった。</li> <li>・お昼持参で昼休みを挟んでも良いかも。</li> <li>・コツがわかって、これからの包丁研ぎが楽しみになりました。</li> </ul>
-----------------	---

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	地域の方からの要望や部会員の提案を参考にしている。	広報	⑤ 事業の	A	B	講座ごとにチラシと、HPで周知を図った
	② 住民の参加	B	B	講座講習会共に期待していたほどの参加数ではなかったが、今回初めて取り組んだ、訪ねてみよう啓次郎ゆかりの地ウォーキングでは、参加した皆さんから来年も開催してほしいとの要望		事業の効果	⑥ 課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地道な活動ではあるが、地域の歴史や先人たちの功績等の地域教育は当協議会が取組ことは、自然な取組みとして妥当である。		住民の満足度	⑦ 住民の満足度	B	B
	③ 各種団体との連携	B	B	歴史同好会、地域の有志にお願いした。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>協議会講座では初めての、試みとして座学ばかりでなく、学習とウォーキングをマッチングさせて、広瀬地区にゆかりの深かった、啓次郎のゆかりの地巡りができたことはよかった。</p>							

地域協議会からの 意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>	対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>	対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⊕』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『⊖』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] 地域再生に係る事業

事業名	広報事業	実施年数	18年目
事業期間	開始：平成19年		
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 ◎広報のツールを使い地域の住民と協議会の橋渡しの役割を担う		
目的 (期待される効果)	広報を通して協議会への理解と地域づくりの活性化を推進する。		
事業内容・手段	(1) 協議会活動の広報・知名度アップの活動 会 場：広瀬地区交流センター及び各事業会場 実施時期：通年 内 容：年3回の「広報ひろせ」の発行とHPの運営を実施した。		
事業費	373,417円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	2人	人
	スタッフ	3人	4人
	合 計	5人	4人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の話題が掲載されて、親しみが出た。</li> <li>・今後も地域のイベントや話題の掲載を、継続してほしいです。</li> <li>・協会事業に参加した自分の写真を見つけて、わくわくしました。</li> <li>・写真での事業紹介はわかりやすく、見る楽しみがあるので、今後も写真主体の紙面づくりをお願いします。</li> </ul>		

◆自己評価(評価：A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	部会員や学校、地域住民の方からの地域行事等を取り上げている。	広報	④ 事業の周知	A	A	広報誌は年3回発行し全世帯配布している。HPは随意発信し事業の紹介等を行っている。
	②住民の参加				事業の効果	⑤ 課題解決への作用	A	A	広報誌及びHPとも協議会の広報の役割を果たしている。

効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	協議会の発信ツールであり協議会の取り組みとして当然妥当な取り組みである。	⑥ 住民の満足度	A	B	住民主体の広報誌、HPとして満足を得ているものと思う
	④各種団体との連携					事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
	<意見への対応>						未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
	<意見への対応>						未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 8 ] 地域再生に係る事業

事業名	地域リーダー育成事業	実施年数	11年目
事業期間	開始：平成25年	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち ◎人材育成のできるまちづくりに努める。</p>		
目的 (期待される効果)	<p>研修を通して自治会活動の活性化を推進する。</p>		
事業内容	<p>(1) リーダー育成研修事業 会 場：日南市南郷町栄町公民館 実施時期：11月18日 内 容 視察先 南郷町のもえる商忘団 もえる商忘団は、その名の通り商いを忘れて利潤を追求せず、地域活性化と地域文化に貢献できればと町内の自営業を中心に会社員、公務員などで結成された任意団体である。 コンサートや港まつりや、伊勢エビツアーなど、いろいろなイベントで、町を盛り上げており、財源、企画、運営など行政に頼らず自分たちのスタイルで行っている竹本会長や役員の方に、活動や、人材、財源などについて説明を受け、質疑応答等をして交流を図った。 意見交換会 自治会が抱える、役員の後継者の問題、未加入の問題などの意見交換を実施した。</p>		
事業費	157,729 円		
対象者	自治会長、協議会役員		
参加者数 (内訳)	年 度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	28人	7人
	スタッフ	1人	1人
	合 計	29人	7人
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ		
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団員の一人一人が自分たちで町を盛り上げようとの心意気を感じた。</li> <li>・ジャズや軽音楽いろんなジャンルのプロの公演を自分たちで企画、出演者への交渉とすごいバイタリティがあっというましく感じた。</li> <li>・イベントの参加者が町内の方だけでなく宮崎市など広い範囲の方に広がっており勢いがあるなあと感じた。</li> <li>・団員の構成員が、年配の方はもちろん、公務員、先生、サラリーマンなど自分から入会してきており団の魅力を感じた。</li> <li>・行政に頼らず、イベントも赤字を恐れずに実行する力に感心した。</li> <li>・他の自治会も同じような問題を抱えていて、解決策はなかなか見いだせないが意見を聞くことで少しは楽になった気がする。</li> </ul>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	B	B	自治会長や協議会役員などから情報を収集している。	広報	④ 事業の周知	B	B	自治会長会部会および協議会役員会で案内している。
	② 住民の参加	B	B	自治会長、協議会の役員を対象にして参加を募っている。		事業の効果	⑤ 課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	昨今の自治会活動は、往年の勢いがなく、事業や人材の発掘などの課題を抱えその課題解決の手段として当協議会が取組ことは意義がある。	事業の必要性		⑥ 住民の満足度	A	A
	③ 各種団体との連携	B	B	視察選定において県、市の地域担当課から情報を得ている。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 意見交換の開催時間を、夜から昼間に変えて、参加しやすいようにした。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⊕』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『⊖』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[9] 地域福祉に係る事業

事業名	制服等の譲渡会事業	実施年数	3年目
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち ◎子供にやさしい支え合える地域を目指す。		
目的 (期待される効果)	すべての家庭の子どもたちが家庭環境に関わらず健全で等しく学べる助け合いの機会を推進する。		
事業内容・手段	(1) 制服等の譲渡会事業 会 場：広瀬地区交流センター 実施時期：4月～3月 内 容：広瀬中学校の卒業生から、制服や柔道着、カバン等を譲ってもらい、令和6年度に広瀬中学校に入学する広瀬小学校の6年生、進級する広瀬中学校の1・2年生で制服等を必要とする対象者への譲渡支援を行い制服等の再活用を図った。		
事業費	88,940円		
対象者	広瀬小学校6年生、中学校の在校生、保護者及び地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	22人	17人
	スタッフ	7人	6人
	合 計	29人	23人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・譲渡会やフリーマーケットなどの活動が地域づくりの大事な活動だと思いますので、この事業が根付いて、地球に、人にやさしい地域づくりを目指してください</li> <li>・感謝しながら子供に使わせていただきます。</li> <li>・卒業して着ることのない、自分の制服が後輩の役に立てうれしいです。</li> <li>・出費がかさむ時期に大変助かります。</li> <li>・これからも続けてください。</li> </ul>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	PTA,学校、校区内の一般の方からの要望により実施した	広報	④ 事業の周知	A	A	回覧チラシ、HP、学校を通じて対象学年生徒にチラシ配布、HPでの告知
	② 住民の参加	A	A	回覧チラシ、HPで地域住民へ寄贈参加を呼びかけた。		事業の効果	⑤ 課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の子どもは地域で育てることは、当協議会の使命でもあり、格差社会の中、共助としての協議会のしっかりした取り組みは意義がある。	事業の必要性		⑥ 住民満足度	A	A
	③ 各種団体との連携	B	B	PTA、小中学校		事業継続の必要性		有 無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> 令和4年度では、個人負担金300円を徴収しているが、もっと徴収してみても良いのではないか。 <意見への対応 この事業を発足するにあたって、協議会内で議論した際は、負担金は、取らない方向で進めていた経緯と、昨今の益々の格差の拡大、物価の上昇などを鑑み、今年度も300円の徴収とした。次年度以降については、クリーニング代を含め検討する。					対応	未・済		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応					対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[10] 地域教育に係る事業

事業名	広瀬中学校部活支援検討事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始：令和5年度	終了：令和5年度													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標 郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つ町 ◎部活の支援を通して青少年の心身の健全な発達に寄与する。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>中学校の部活支援の在り方、内容等に関して協議会の基本的な方針を協議し、将来の部活支援の足掛かりとする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 広中学校部活支援検討事業 会 場：広瀬地区交流センター 実施時期：4月～3月 内 容：今後の部活支援の、将来的な展望、方向性について宮崎市教育委員会へのヒアリング、広瀬中学校教諭へ部活の現状、課題についてのアンケートを実施した。現時点では教育委員会の支援に対する、明確な指針は出ておらず、不確定要素も多い。 先生へのアンケートで、担当教諭の負担は、特に土日の練習、試合は相当な負担があるものと思われた。 地域づくりの支援として、何ができるのか、やれるのか相当ハードルが高く難しいものがあると感じられた。</p>														
事業費	18,020円														
対象者	広瀬小学校6年生、中学校の在校生、保護者及び地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>3人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>18人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和5年度	令和年度	一般参加者	3人	人	スタッフ	15人	人	合 計	18人	人
年 度	令和5年度	令和年度													
一般参加者	3人	人													
スタッフ	15人	人													
合 計	18人	人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>・学校長より、地域づくりで子供たちのことに関心を持っていただいてありがたいと思いますとのコメントあり。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
		本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	④ 地域ニーズの把握	B		休日の部活動地域連携、移行という事を、今後の協議会の学校支援に関することとして受け止めている。	広報	⑦ 事業の周知		
	⑤ 住民の参加	B		協議会役員、学校・行政関係者		事業の効果	⑧ 課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B		学校支援、地域で子供を育てることを協議会の大きな柱としており、協議会が取り組むことは妥当と考えている。			⑨ 住民満足度	
	⑥ 各種団体との連携				事業継続の必要性		有 無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済
	<意見への対応							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済
	<意見への対応							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第7号)

## 事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	地域安全確保推進に係る事業
-----	---------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	350,165	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計 (A)	350,165	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	222,775	①防災に係る支援と啓発活動 30,252 円 お茶(1,680 円×2 ケース) 3,360 円 文具他 26,892 円 ②防犯パトロールの推進活動 103,787 円 お茶(1,680 円×5 ケース) 8,400 円 文具他 48,872 円 燃料代 42,665 円 整備代 3,850 円 ③危険箇所改善推進活動 3,360 円 お茶(1,680 円×2 ケース) 3,360 円 ④子どもみまもり隊活動支援活動 85,376 円 お茶(1,680 円×2 ケース) 3,360 円 文具 ヘルメット 10 枚帽子 20 枚腕章 5 枚 82,016 円
5	役務費	67,390	①防災に係る支援と啓発活動 3,200 円 保険(50 円×60 名) 3,000 円 印紙 200 円 ②防犯パトロールの推進活動 64,190 円 任意保険 32,850 円 自動車税 4,000 円 保険 27,340 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金	60,000	②防犯パトロールの推進活動 60,000 円 車検積立金 60,000 円
12	合計 (B)	350,165	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	石崎浜・石崎川流域再生利用促進に係る事業
-----	----------------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	150,182	
2	負担金	16,300	EM液 300円×4名 EM石鹸 100円×1名 カヌー教室 500円×30名
3			
4	合計 (A)	166,482	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	5,000	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 5,000円 講師謝礼(2時間) 5,000円
3	旅費		
4	需用費	88,872	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 26,826円 EM材料代 18,618円 文具他 8,208円 ②石崎浜・石崎川河口流域清掃活動 22,000円 文具他 22,000円 ③カヌー教室と環境学習 29,859円 お茶(1,680円×2ケース) 3,360円 文具 498円 弁当(30名分) 15,001円 クリーニング(440円×25枚) 11,000円 ④スケッチ大会の開催 3,605円 お茶 1,680円 文具 1,925円 ⑤アカウミガメ学習会 6,582円 お茶 1,680円 弁当(8名分) 2,592円 文具他 2,310円
5	役務費	49,610	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 6,200円 保険(50円×40名) 2,000円 切手 84円×50枚 4,200円 ③カヌー教室と環境学習 39,410円 保険(350円×70名分+特約手数料) 24,710円 切手 84円×100枚、63円葉書 100枚 14,700円 ④スケッチ大会の開催 1,000円 保険(50円×20名) 1,000円 ⑤アカウミガメ学習会 3,000円 保険(50円×60名) 3,000円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	23,000	③カヌー教室と環境学習 21,500円 カヌー賃借料 20,000円 軽トラック借用料 1,500円 ⑤アカウミガメ学習会 1,500円 軽トラ借用料 1,500円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	166,482	

収支差額 (A) - (B)

0

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	健康づくり地区民交流事業
-----	--------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	168,957	
2	繰越金	365,749	
3			
4	合計 (A)	534,706	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	10,000	③スポーツレクリエーション「ペタンク」 10,000 円 講師謝礼 (2時間2回) 10,000 円
3	旅費		
4	需用費	466,306	①第19回元気げんき祭り 343,231 円 弁当(88名) 44,003 円 参加賞(300名) 16,800 円 お茶(1,680円×6ケース) 10,080 円 景品(米、菓子) 56,010 円 賞品(みかん、菓子ジュース) 36,108 円 せんぐ用餅代・お菓子代 136,161 円 文具他 26,469 円 クリーニング 17,600 円 ②自治会交流グラウンドゴルフ大会 100,551 円 お茶(1,680円×5ケース) 8,400 円 参加賞 10,080 円 弁当(20名) 12,959 円 文具他 69,112 円 ③スポーツレクリエーション「ペタンク」 22,524 円 お茶(1,680円×1ケース) 1,680 円 賞品 19,359 円 文具 1,485 円
5	役務費	25,240	①第19回元気げんき祭り 16,000 円 保険(50円×320名) 16,000 円 ②自治会交流グラウンドゴルフ大会 6,240 円 保険(50円×120名+特約手数料) 6,240 円 ③スポーツレクリエーション「ペタンク」 3,000 円 保険(50円×60名) 3,000 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	5,000	①19回元気げんき祭り 4,500 円 軽トラック借用料 9台 4,500 円 ②自治会交流グラウンドゴルフ大会 500 円 軽トラック借用料 9台 500 円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費	28,160	②自治会交流グラウンドゴルフ大会 28,160 円 テント、椅子 28,160 円
11	積立金		
12	合計 (B)	534,706	

収支差額 (A) - (B)

0

## (様式第7号) 事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	ふれあい交流推進活動に係る事業
-----	-----------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	81,599	
2			
3			
4	合計 (A)	81,599	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	5,000	②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び 5,000円 講師謝礼(2時間) 5,000円
3	旅費		
4	需用費	75,039	①伝統芸能普及活動 55,239円 弁当(99名) 33,647円 お茶(1,680円×3ケース) 5,040円 クリーニング(440円×21枚) 9,240円 文具他 7,312円 ②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び19,800円 文具 19,800円
5	役務費	1,560	①伝統芸能普及活動 1,560円 保険(50円×30名+特約手数料) 1,560円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	81,599	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	中学生ボランティア事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	67,444	
2			
3			
4	合計 (A)	67,444	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	51,444	①広瀬中地域ボランティア活動 51,444 円 お茶(1,680 円×9 ケース) 15,120 円 ゴミ袋・軍手他 14,228 円 文具他 22,096 円
5	役務費	15,000	①広瀬中地域ボランティア活動 15,000 円 保険(50 円×300 名) 15,000 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	1,000	①広瀬中地域ボランティア活動 1,000 円 軽トラック使用料2 台 1,000 円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	67,444	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号) 事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	協議会講座事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	46,637	
2	負担金		
3			
4	合計 (A)	46,637	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	43,557	①協議会講座 43,557 円 お茶 (1,680 円×1 ケース) 1,680 円 参加賞 11,796 円 文具 26,895 円 おにぎり (10 名分) 3,186 円
5	役務費	3,080	①協議会講座 3,080 円 保険(50 円×60 名+特約手数料) 3,080 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	46,637	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号) 事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	広報事業
-----	------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	373,417	
2			
3			
4	合計 (A)	373,417	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	205,388	①協議会活動の広報・知名度アップの活動 205,388 円 広報印刷製本費(59,840 円×3) 179,520 円 文具他 1,668 円 スタッフ用ベスト 24,200 円
5	役員費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	121,140	①協議会活動の広報・知名度アップの活動 121,140 円 サーバー使用料 12,900 円 印刷機リース料 108,240 円
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費	46,889	①協議会活動の広報・知名度アップの活動 46,889 円 防水スピーカー 32,890 円 ワイヤレスマイク 2本 13,999 円
11	積立金		
12	合計 (B)	373,417	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号) 事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	地域リーダー育成事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	157,729	
2			
3			
4	合計 (A)	157,729	

(2) 支出の部

バス代	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	91,199	①リーダー育成研修事業 91,199 円 お茶 (1,680 円×4 ケース) 6,720 円 弁当 (9 名) 6,300 円 印刷資料代 10,000 円 文具代 68,179 円
5	役務費	1,330	①リーダー育成研修事業 1,330 円 保険(50 円×20 名) 1,000 円 振込手数料 330 円
6	委託料	65,200	①リーダー育成研修事業 65,200 円 バス代 65,200 円
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	157,729	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	制服等の譲渡会事業
-----	-----------

(3) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	63,740	
2	個人負担金	25,200	300円×82着+100円×6着
3			
4	合計(A)	88,940	

(4) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	41,190	①制服等の譲渡会事業 41,190円 防臭剤 1,754円 文具 39,436円
5	役務費	47,750	クリーニング 47,750円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	88,940	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	広瀬中学校部活動支援検討事業
-----	----------------

(5) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	特例交付金	18,020	
2			
3			
4	合計 (A)	18,020	

(6) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	18,020	①広瀬中学校部活動支援事業 18,020 円 お茶 (1,680 円 2 ケース) 3,360 円 文具 14,660 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	18,020	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

令和 6年 5月20日

令和6年度 広瀬小学校区地域づくり協議会への意見書 [事業実施報告]

佐土原地域自治区地域協議会  
会長 根井 翼

令和5年度の佐土原地域自治区（広瀬小学校区）の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

計画に沿って適正な運営が図られていました。

事業実績報告書における自己評価を踏まえて、今後の事業に活かしてください。

事業の実施にあたっては、更に工夫を凝らして成果が得られるようお願いいたします。

2 事業の推進体制

特にありません。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
地域教育に係る事業 (中学生ボランティア事業)	日曜日に中学生 200 名程の参加があるが授業の一環として行ったのか。→生徒の自主的な活動。

4 その他